

授業実践

1 題材名 「お話の世界ーねん土から生まれた不思議な○△□ー」

2 目標

- 材料やいろいろな用具を使うことに関心をもち、進んでかかわりながらつくることを楽しもうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- 材料や用具、友人にかかわり、いろいろな表し方を試しながら、自分のつくりたいものの構想をふくらませることができる。
(発想や構想の能力)
- 材料や用具、友人の表し方のよさや面白さなど感じ取ったことを基に、自分の思いを工夫して表すことができる。
(創造的な技能)
- 自分や友人の表し方の工夫や作品への思いに気付き、よさや面白さを感じ取ることができる。
(鑑賞の能力)

3 学習活動全体の展開 (5時間扱い)

時	学習活動・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導 ●手立てを講じた学習場面での評価 ○個への配慮
導入	1 本時の学習とねらいを知る。 ねん土を変身させよう	<ul style="list-style-type: none"> ・土粘土でつくった面白い表し方を提示することで、興味をもつことができるようする。 ・土粘土の基本的な扱い方を確認し体だけで試すようにする。 ・土粘土を変身させる用具を例示し、よさや面白さ、工夫についての理解を促す。 <p>●材料（土粘土）やいろいろな用具を使うことに関心をもち、進んでかかわりながらつくることを楽しもうとしている。 【造形への関心・意欲・態度】(観察)</p>
	2 土粘土に触れ、いろいろな表し方を試す。 第1段階：用具を使わずに試す。 第2段階：用具を使って試す。	<ul style="list-style-type: none"> ○体全体を使って多様な表し方を試したり、つくり直したりするように用具や場所の活用を助言する。 ・各自の表し方を紙皿に展示し、お互いに見たり話し合ったりすることができるようする。 ・新しい表し方を認め励まし、よさや面白さの視点がもてるよう支援する。 <p>●材料（土粘土）や用具、友人にかかわり、いろいろな表し方を試しながら、自分のつくりたいものの構想をふくらませている。 【発想や構想の能力】(観察、カード)</p>
	3 友人の表し方のよさや面白さについて話し合い、付せんに書いて交換する。	<ul style="list-style-type: none"> ○表し方が見付からない児童には、友人が試した用具を試したり、友達に質問したりするよう活動を促す。
	4 本時の学習を振り返る。	
	5 後片付けをする。	
製作	1 本時の学習とねらいを知る。 不思議な生き物○△□をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫した表し方を称賛し、意欲を高める。 ・扱いやすいやわらかさに練った土粘土を十分用意し、児童のつくりたいものを実現できるよう支援する。 ・用具を友人と交換してもよいことを告げ、友人とかかわりながら、友人の表し方のよさや面白さを感じ取りながら工夫して表すことができるようする。 ・製作の途中でやり直したり、別の形に変えることも認め、自分の思いに合わせて表現できるようする。 ・いろいろな角度から見て、製作を進めることができるように言葉かけをする。 ・前時の学習カードの記述や補助簿、準備した用具などから表したい思いを共感的にとらえ、一人一人の表し方のよさや面白さを認め、助言する。 <p>●材料（土粘土）や用具、友人の表し方のよさや面白さなど感じ取ったことを基に、自分の思いを工夫して表している。 【創造的な技能】(観察、カード、作品)</p>
	2 試したことや気付いたことを生かして用具を使い、工夫して表す。	<ul style="list-style-type: none"> ○工夫して表す活動が進まない児童には、意図的に表現方法を試させてることで、活動のきっかけになるよう支援する。
	3 本時の学習を振り返る。	
	4 後片付けをする。	
鑑賞	1 本時の学習とねらいを知る。 不思議な生き物○△□をしようかいしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の意図がよく伝わるように、自分の言葉で紹介させる。 ・友人のイメージの広がりや表し方の工夫を共感的にとらえるように助言する。 ・質問を工夫できるよう鑑賞のポイントカードを用意し、友人の表し方のよさを聞き出せるようする。 ・付せんに作品を見て感じたことや話を聞いて考えたことを記入し、友人に渡してお互いのよさや面白さを認め合うことができるようする。 <p>●自分や友人の表し方の工夫や作品への思いに気付き、よさや面白さを感じ取っている。 【鑑賞の能力】(観察、カード)</p>
	2 小グループで鑑賞し、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞が深まらない児童には、形や用具の工夫など、具体的な視点を確認して、鑑賞できるよう支援する。
	3 友人同士でメッセージを書いた付せんを交換する。	
	4 本時の学習を振り返り、まとめを行う。	
〔共通事項〕 の視点から		材料（土粘土）や用具にかかわる行為から得られた感覚や、友人とかかわる活動を通して、形や組合せの感じをとらえ、自分のイメージをもつ。